

SUMMER/2021

VOL.90

発行/(公財)東京都人権啓発センター

誰もが幸せを実感できる社会へ

TOKYO 人権



いかにして越えるか

図書資料室



人権に関する図書、雑誌、啓発ビデオなどの視聴覚資料を多数備えています。貸出は東京都内に居住、通勤・通学されている方が対象です。

【図書の貸出点数・期間】
1人5点まで、2週間以内

ビデオライブラリー

700タイトル以上の啓発ビデオ、DVDなどを備え、研修など多様なニーズにお応えします。視聴コーナーもあります。

【視聴覚資料の貸出点数・期間】
1人5点まで、1週間以内

東京都 人権プラザ

TOKYO METROPOLITAN HUMAN RIGHTS PLAZA に来てみませんか？

東京都人権プラザは、東京都が設置した人権啓発のための拠点施設で、**公益財団法人 東京都人権啓発センターが指定管理者として運営・管理を行っています。**

人権について楽しく体験して学べる展示室、セミナールームや図書資料室、人権に関する相談ができる相談室があります。また、人権問題をテーマにした講座等を開催しています。展示や講座等の最新情報は、**東京都人権プラザホームページ** (<https://www.tokyo-hrp.jp/>) および**公益財団法人 東京都人権啓発センターホームページ** (<https://www.tokyo-jinken.or.jp/>) の「新着・更新情報」をご覧ください。

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から臨時休館する場合があります。開館状況は事前にホームページでご確認ください。

東京都人権プラザ
ホームページ



公益財団法人
東京都人権啓発センター
ホームページ



セミナールーム



人権プラザが主催する講座、ワークショップ、団体見学される皆様へのガイダンスなどを行います。

企画展示室



タイムリーかつ独自の視点で人権に関する絵画展、写真展などの企画展を実施します。人権を深く学ぶチャンスがここにあります。

展示室



障害者の方を起点として開発された発明品を展示しています。

物や体験を通して人権について気づき、考えるきっかけとなる展示を行っています。実際にアイヌの伝統楽器を手に取り、民族衣装を着てみることで、アイヌの文化を体験できます。

東京都が掲げる 17の人権課題

●女性 ●子供 ●高齢者 ●障害者 ●同和問題(部落差別) ●アイヌの人々 ●外国人 ●HIV感染者・ハンセン病患者 ●新型コロナウイルス感染症等 ●犯罪被害者やその家族 ●インターネットによる人権侵害 ●北朝鮮による拉致問題 ●災害に伴う人権問題 ●ハラスメント ●性自認 ●性的指向 ●路上生活者 ●様々な人権課題

YouTube / 公財・東京都人権啓発センター

主催事業等に関する動画をアーカイブし、YouTube公式チャンネルで公開しています。是非ご覧ください。



動画一覧

東京都人権プラザ「リニューアルオープニングイベント」/都民講座「ゲイをカミングアウトした教員から今みんなへ伝えたいこと」等

公益財団法人
東京都人権啓発センター
TOKYO METROPOLITAN HUMAN RIGHTS PROMOTION CENTER

公益財団法人
東京都人権啓発センター
〒105-0014 東京都港区芝2-5-6
芝256スクエアビル2階
TEL 03-6722-0082 (総務課)
FAX 03-6722-0084
<https://www.tokyo-jinken.or.jp/>



東京都 人権プラザ
TOKYO METROPOLITAN HUMAN RIGHTS PLAZA



(公財) 東京都人権啓発センターは東京都人権プラザの指定管理者です。

TOKYO 人権

目次 CONTENTS

3 INTERVIEW

「見えない壁だって、越えられる。」

—クライミングで、互いの壁を取り払い、理解し合う

NPO法人 モンキーマジック代表 こばやし こういちろう 小林 幸一郎さん



7 子ども相談室

こんなとき、どうするの？

自分らしさについて



8 解決！ユニバーサルデザイン

人権を知る・学ぶ学習会



9 特集

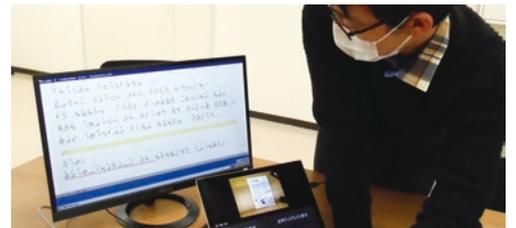
履歴書が変わる！

—履歴書を変えることでできることは

10 JINKEN note

コラム マイノリティに立ちふさがる「壁」の解消を目指す高専生たちの物語

—自動点字翻訳システムの開発とこれから



毎週土曜日
放送中！

蓮見孝之
まとめて！
土曜日

毎週土曜日 朝 7時～9時



(公財)東京都人権啓発センターでは、人権問題をテーマに、リスナーに分かりやすく身近な話題を取り上げる人権啓発ラジオ番組を提供しています。

人権
TODAY

最近の放送テーマ 同性カップルが出版 絵本で学ぶ「違いを知ること」、国籍関係ないオーケストラを目指して日系ブラジル人が各地で開く音楽教室

番組名 | 人権TODAY「蓮見孝之まとめて！土曜日」内のコーナー
放送局 | TBSラジオ AM954kHz / FM90.5MHz
放送日時 | 毎週土曜日 朝8時20分頃から5分間
キャスター | 蓮見孝之さん、北村まあささん



「見えない壁だって、越えられる。」

「クライミングで、互いの壁を取り払い、理解し合う」

NPPO法人
モンキーマジック代表

こばやし こういちろう

小林 幸一郎さん

誰とも比較されない 自分と向き合い、限界に挑む

小学生のころから運動が嫌いで勉強も苦手で、将来の夢もなく高校生になるまで、毎日を漫然と過ごしていました。周りの同級生が、勉強やスポーツに打ち込んでいる姿が羨ましく、「僕にも何か夢中になれるものがほしい」と思っていたものです。

そんな折、書店で何気なく手にした山岳雑誌で、フリークライミングの存在を知り強い憧れを抱きました。高校2年の春のことでした。そこには、「クライミングは誰かと比べるスポーツではなく、自分の限界に向き合うスポーツだ」と記されていました。「人と比べられないのなら自分にもできる」と確信し、同じ年の夏休みからクライミング教室に通い始めました。

当時は人工のクライミングウォールはまだなく、自然の中で過ごす爽快さや、岩場を自分の力で一歩ずつ登っていく喜びを感じられるクライミングに、どんどん夢中になっていきました。クライミングに出会うことで、初めて「私にも情熱を傾けられるものが見つかった」と思うと同時に、クライミング教室での大人たちとの出会いにより、自分の世界が大きく広がったことをよく覚えています。

撮影場所：Rock Climbing 三鷹ジム^{※1}

※1 Rock Climbing 三鷹ジム：武蔵野市中町1丁目1-8 Hn28ビルB1F TEL 0422-56-2926 JR三鷹駅から徒歩1分
ウィークリー課題を設けるなど、ボルダリングを気軽に楽しむ工夫がされているジム。視覚障害者向けレッスンイベントも実施中。



自分の限界に挑む クライミングの 魅力を伝えたい



こばやし・こういちろう

大学卒業後、旅行会社、アウトドア衣料品販売会社などを経て、33歳で退職し、37歳でNPO法人モンキーマジックを設立。16歳でフリークライミングと出会う。28歳のときに「網膜色素変性症」を発症。将来失明するという診断に失意の日々を送るが、その後さまざまな出会いから現在の活動を開始。2019年パラクライミング世界選手権フランス大会にて男子B1クラス4連覇達成。視覚障害者へのフリークライミング普及活動を行う「NPO法人モンキーマジック」代表理事。2017年東京都主催ヒューマンライフフェスタ参加。

徐々に世界が色あせていく中、 自分の道を模索し始めた

アウトドア用品メーカーに勤めていたとき、お客様にキャンプやカヌー、マウンテンバイクを体験してもらうアウトドアの体験教室やツアーを担当しました。毎週末、西へ東へと赴き、雄大な自然の中で過ごす仕事は、まさに私の天職でした。あのころの私は、一生この仕事をしたい。生きていくのだと信じていました。

28歳のときに、車の運転中に景色が見えづらくなり、メガネを作ろうと軽い気持ちでメガネ店を訪れると、眼科の検診を勧められました。眼科を受診すると「網膜色素変性症」と診断され、近い将来失明するという宣告を受けたのです。最初は何を言われているのかも分かりませんでした。確かにその日を境に人生は大きく変わり始めました。最初に感じたのは、色鮮やかさがあせていく感覚でした。自然の中に出かけると、新緑の緑、紅葉の黄や赤、青空や海の鮮やかさが徐々になくなり始めました。焚き火をしながらから過す満天の星空から、星の数がどんどん

減っていききました。だんだんと見えなくなっていく恐怖に支配され、いずれは車も運転できなくなり、本が読めなくなり、そして人の顔も分からなくなっていくのだろう、この次には何ができなくなるのかと、起きてもない悪い未来のこのばかりを考える時間が続きました。

治療の道を探し、いくつもの病院を訪れましたが、思うような結果は得られず失意の中になりました。そんなとき、友人に勧められてロービジョンクリニックを訪ねたのです。そこは、治療を目的とする病院とは異なり、治らない病気の人が、見えない世界でどう生きていくのかを支援する場所でした。そこで出会ったケースワーカーの言葉に大きく心を揺さぶられました。恐怖を口にする私にこう声をかけたのです。「大切なことは、あなたが何をしたいのか。どう生きていきたいのかですよ。もっと自分の道を歩きなさい」と。そのとき、一人の視覚障害者としてどう生きていけば良いのかという模索が始まりました。

クライミングのすばらしさを 多くの視覚障害者に伝えたい

友人の結婚式でアメリカへ渡ったときのことです。全盲でありながらエベレストに登頂したクライマーの存在を知り、大きなショックを受けました。全く眼が見えなくてもエベレストに挑戦できる――

※2 ロービジョン (Low Vision) とは、何らかの原因により視覚に障害を受け「見えにくい」「まぶしい」「見える範囲が狭くて歩きにくい」など日常生活での不自由さをきたしている状態を指します (国立障害者リハビリテーションセンターHPより)。



視覚障害は私が考えていたよりもはるかに大きな可能性を持っていたのです。その人にどうしても会いに行きたくなり、すぐに連絡をとり会いに行きました。温かく歓迎してくれた彼とは、一緒にクライミングをしながら多くの言葉を交わしました。

「16歳で出会ったクライミングを、病気が分かってからもずっと続けてきた私は、その魅力を誰よりも知っている。その面白さを自分以外の視覚障害がある人にも伝えたい」と私は言いました。すると彼は、「アメリカでは多くの視覚障害者がクライミングを通して自信を取り戻し、新しい可能性に気づいている。日本で誰もしていないのなら、君がすばらしい」と背中を押してくれました。アメリカでの彼の出会いにより、自分が進む方向に確信を持てるようになりました。その後、任意団体として活動を徐々に始め、この活動には社会的な意義や価値があり、もっと大きく前に進めていくべきだと確信した2005年8月に、NPO法人モンキーマジックを立ち上げました。

こうして私は人生で2度クライミングに出会いました。1度目はクライミングを

知った16歳のとき。2度目は、クライミングの楽しさを伝えていく決心をした37歳のときです。どちらも、私の人生を大きく変えたターニングポイントです。

障害があることは、あきらめる理由にはならない

創設当初のモンキーマジックは、視覚障害者がクライミングをするための組織でした。そんな視覚障害のあるクライマーと一緒に登る仲間と出会う機会を増やしたいと、障害があってもなくても参加できる交流型クライミングイベントを2012年にスタートさせました。

この交流型クライミングイベントは、自分たちが思っていたよりもはるかに大きな価値がありました。クライミングを共に楽しむ仲間ができたことはもちろん、障害がない人たちからは、普段出会う機会のない障害がある人たちとクライミングを通じて交流することで、価値観が揺さぶられ、社会の見方が変わったという声をもらっています。クライミン



クライミングイベント「マンデーマジック横浜」



みちびクライミング

グという、障害のあるなしに関わらず、誰もが一緒に楽しめるスポーツを通して、障害者を含んだ多様性を認め合える社会への理解を深めてもらえる場でもあると考えています。

その他にも、iPS細胞をつかった網膜再生研究を行う医師から声をかけていただき、神戸では「みちびクライミング」というクライミング施設を運営しています。これは、クライミング中に次に掴むべき場所を光と音で知らせることで、クライマーをゴールまで導く仕組みです。弱視などでも点滅する光を見つけやすい視覚障害者は多く、自ら次に手を伸ばす場所を考えながら探して登ることが出来ます。

さらには、クライミングを通じて人と関わることで、社会性を向上させ、自発的に行動できる障害者を増やす活動を行っています。例えば、全国の特別支援学校へも積極的に訪れています。「あきらめることは簡単だけど、やればできるよ」と、自分でやり方を考え工夫すればできることがある、という経験をしてもらいたいです。現在では、訪問した視覚支援学校などに常設のクライミング

ウォールが設置されています。

法人を維持しこれらの活動を発展させる資金を確保するためにも、クライミングジムの経営に加え、音声の文字起こし事業を立ち上げて障害者が携われる仕事をつくったり、Tシャツなどのサポートグッズを支援企業と制作したりすることを通じて、資金を集める事業にも力を入れていきます。私たちのようなNPO法人は、社会を豊かにすることを目的としています。社会を豊かにすることを目的としています。社会を豊かにすることを目的としています。今後

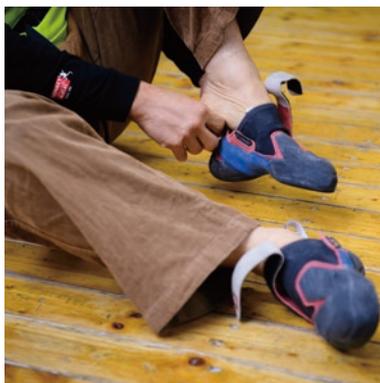


クリマンジャロ登頂 (2005年)



パラクライミング世界選手権スペイン大会 男子B1クラスで優勝 (2014年)

誰もが乗り越えていける 心の中にある不安を



誰もが自ら挑戦する社会へ

世の中には、視覚障害者に対して、「真っ暗闇の中で常に不自由と向き合いながら生きている」という固定観念を持っている人が多いようです。しかし、視覚障害者にも、障害がない人と同じように、友人と食事をしたり、冗談を交わしたり、といった日常があります。もちろん不安なことも存在しますが、それは取り立てて障害があるからではありません。誰もが楽しみもあれば不安もある同じ人間だからです。

障害者は、常に「助けてあげなければならぬ人」ではありません。交流型クライミングのイベントで固定観念が打ち破られた人の中には、自分には登れない難易度の高い壁を障害のある人が登っていくのを目の当たりにして驚いたという人もいます。そういう経験が「助ける・助けられる」の関係ではなく、同じクライミング仲間として理解が深まっていく契機となっていきます。

一方、障害者の中には、社会が自分を助けてくれないと考えている人もいます。そうではなく、社会と関わる機会を持つにはどうすればいいかを考え、障害者を知らない人とのつながりを持つ場所が必要だと考えています。そこで、クライミングを両者の接点として活かしていることと私たちは活動しています。現状では、障害がある人もない人も双方が出会

い一緒に過ごす場所が、十分にあるとは言えません。どちらの立場であっても、機会を与えられるのを待つのではなく、自ら行動を起こしてほしいのです。

モンキーマジックは、「見えない壁だって、越えられる。」という理念の基に活動しています。見えない壁とは、誰もが心の中に持っている、「自分にはできないのではないか」という心の声です。「やったことがないから」、「私には障害があるから」と躊躇する気持ちを乗り越えて、チャレンジしてみたら自分にもできた、という達成感をクライミングでは経験できます。さらには、障害のあるなしに関わらず多くの人が普段の生活の中で出会うあらゆる「見えない壁」を越えていくような生き方に変わっていったら嬉しいのです。

インタビュー／八木花香（東京都人権啓発センター 専門員）／編集 杉浦由佳／撮影（表紙・2～6ページ）百代

「見えない壁を越えるために」 背中を押してくれる小林さんの著書



右／『見えないチカラ ～視覚障害のフリークライマーが見つけた明日への希望～』（アスペクト）
左／『見えない壁だって、越えられる。』（飛鳥新社）

子ども相談室 ☺

こんなとき、
どうするの？

【テーマ】自分らしさ



「女の子だから」「男の子だから」
など、誰かの「当たり前」を押し
付けられて、嫌な気持ちになった
ことはありませんか。誰かに自分
の好みを否定されたとき、どうす
ればいいのか一緒に考えてみま
しょう。

ナビゲーター



とうきょうとじんけんけいはつ
東京都人権啓発センター
専門員 吉田 加奈子

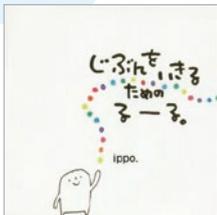
男の子が人形で遊びたいって
思うのは、おかしいですか？

Q



よ読んでみよう！

せんもんいん
専門員おすすめの絵本



『じぶんをいきるための
るー。』

ちよ かいほうしゅつぱんしや
ippo. 著 / 解放出版社

思うのは、おかしいですか？

?

自分の好きなことは大切にしてほ
しいと思います。女の子の体で
生まれたIさんは、「僕は男なの
に」と思いながら本当の自分を隠
すように生活していて心と体が苦
しかったと言います。大人になっ
て「自分の『好き』を大切にしてい
いよ。あなたはひとりじゃないよ」
と言ってくれる人に出会って初め
て「自分のことをおかしくない」と
思えたそうです。
あなたの大切にしたいことは、誰
かに決められるものではないはず。
自分が自分を好きでいられるのが
一番大事ですよ。

A

じかい
次回のテーマは「ネット/SNS」です。疑問や質問などお気軽にお寄せください。
みぎ
右のQRコードまたは下記URLからお問い合わせください。

https://www.tokyo-jinken.or.jp/publication/contact_tj.html



たよ ぼしゅう
お便り募集



エレベーターは、誰もが
おなじょうに使えるという
てんきゅうきょく
点で究極のユニバーサル
デザインといえるね！

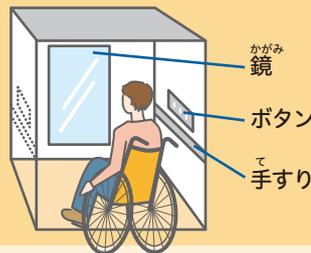
かべ
壁やドアが透明だと、
じしんや事故があったと
き、聴覚に障害がある人
が、外にいる人に知らせ
ることができて安心！

おんせい
音声での
案内もある！

ドアが
ひら
開きます

エレベーターの中

くるまの
車いすに乗っている人がエレベーターの中で向きを変えずに後ろ
むきで降りるとき、後方を確認するための鏡がついているよ！
むきを変えずにそのまま直進で乗り降りできるエレベーターもあるよ。



東京都内の駅でエレベーター等により段差が解消された駅は、95%！

2020年3月時点で全757駅中726駅（東京都福祉保健局ホームページより）

解決！ ユニバーサルデザイン

ボタンを大きく、押しやす
くしているところも。
もちろん、車いすに乗っ
ている人の高さにも対応
しているよ。

身の回りにあるものを観察してみましょう。
自分にとっては使いやすいかも、
他の人にとってはどうでしょうか？
今回はエレベーターを見てみましょう。

人権を知る・学ぶ学習会



学校で
人権問題体験学習会



学校での人権教育を支援する事業として、ワークショップや講演会
など、交流や体験を通して人権を学ぶ学習会を実施しています。様々
な人権テーマの「エキスパート」が学校を訪問し、児童・生徒が人
権問題について当事者の目線から考える機会を提供します。

[実施事例] バリアフリー/ユニバーサルデザイン、障害者との交流、アイ
ヌ文化体験、多文化共生体験、いじめ問題、LGBT、パラスポーツ体験など
[申込方法] 令和3年度分を受付中です。詳細はお問い合わせください。
[所要時間] 1回あたり45分から120分(学年、プログラムに応じて変わ
ります。オンライン実施も可)



東京都人権プラザで
人権学習会



人権プラザでは、団体見学を受け入れています。専門員による展示
の解説や、体験キット（高齢体験・視覚障害体験など）を使った児
童・生徒向け学習会をはじめ、教職員や企業向け研修など、団体の
目的に応じたプログラムをご用意しています。

[実施事例] オリンピック・パラリンピックと人権、東京の人権問題、ポ
ッチャ体験、展示アイテムや視聴覚教材を使用した研修プログラムなど
[申込方法] 事前にお申し込みが必要です。希望日時、目的や希望内容、参
加人数をお聞きした上で、担当者から提案書をお送りします。※新型コロナ
ウイルス感染症の感染拡大防止のため人数等に制限を設けて実施します。
[所要時間] プログラムに応じて変わります。

問い合わせ・申し込み

(公財) 東京都人権啓発センター 普及啓発課 TEL 03-6722-0085 ✉ gakushukai@tokyo-jinken.or.jp

特集 履歴書が

変わる！

履歴書を変えることで
できることは



市販の履歴書から性別欄を削除することを求めてきた運動が、労働問題に取り組むNPO法人POSEEが集めた1万筆を超える署名により結実しました。日本で主に使われている「JIS規格」の履歴書の様式例を作成する日本規格協会が、2020年7月、履歴書の様式例の全てを公式サイトから削除し、12月には大手文具メーカーのコクヨが、性別欄の記載がない履歴書の販売を開始しました。今回は、履歴書をめぐる取り組みの背景と、これからの課題を解説します。

性別欄を含む

「見本」の全てがなくなる

この署名活動は、2019年2月、POSEEがトランスジェンダー[※]当事者とともに始めました。当事者から労働相談を受ける中で、履歴書の性別欄への記入が大変苦痛であること、採用時に申告した性別と戸籍上の性別が異なると告白したことで、内定を取り消されたという声を聞いていたからです。

経済産業省と厚生労働省に署名を持参したところ、すぐに対応が検討され、その流れで、多くの履歴書メーカーがモデルとしてきたJIS規格履歴書の様式例の全てが、ホームページ上から削除されました。つまり、履歴書の様式「見本」がなくなることとなったのです。

削除された「功績」、問われる「公正さ」

性別欄の削除に伴い「見本」がなくなつたことで、公正採用選考の観点からは、雇用主が履歴書への記入を求める情報に關しての規範がなくなるのではという新たな懸念が浮かびます。日本における公正採用選考の下地は、1970年ごろ被差別部落出身者を排除する就職差別の実態が発覚したことを受けて築かれました。統一された履歴書の様式例は、本籍・出生地や信仰する宗教、親の仕事、家族構成など、社会的差別の原因となりうる項目を履歴書から撤廃する運動の中で整備されたもので、いわば同和問題(部落差別)に関わる就職差別をなくす取り組みの「功績」でもありました。

さらに近年では、新卒者採用は企業が独自に作成したエントリーシートで書類選考されることが多く、書類で尋ねられる項目や面接で何を問われるかは、以前にも増して外から見えにくくなっていきます。ただ、現在では、職業安定法や男女雇用機会均等法により、採用選考におい

て、本籍・出生地や思想信条など、適正と能力に関係がない事項を把握することは禁じられています。

性別欄を含む様式例の削除は、性的少数者の声を反映させた第一歩となりました。しかし、求職者が性別欄のない履歴書を使っていることで「何か理由があるのではないか」と雇用主の憶測を呼ぶ可能性もあり、個人の属性を問わない「公正な履歴書」のカタチについてあらためて議論する必要があるといえます。

諸外国で使用される

「属性を問わない」履歴書

国立国会図書館の調査によると、アメリカ、カナダ、ヨーロッパの複数国や韓国、オーストラリアでは、氏名、性別、年齢、人種など、個人的な属性を問う項目を除外した「匿名履歴書」を使用することで、採用における差別を防ぐ動きが見られ、韓国では出身地や家族関係、身体的条件などの情報を記載せず、面接でもこれらを質問しない方法での採用が法律で義務化されているといえます。

POSEEで性的少数者からの労働相談を受けてきた佐藤^{せとうまなみ}さんは、「本来、その人自身の仕事上のスキルや技能によって採用の判断をすべきですが、日本では性別や容姿、年齢、配偶者の有無といった個人的な属性によって差別されるというのが現実です。日本全体として個人の属性

を問わない社会的規範ができていく状態になっていませぬ」と話します。また、代表の今野^{このはるみ}晴貴さんは「大事なものは、権利が侵害されたときに問題化すること。制度が変わり、社会へ問題として問いやすくなり、採用でも職場でも差別がなくなっていく。あらゆる差別の解消に通じる大きな変化に繋がっていくのでは」と今回の性別欄をめぐる動きを評価します。

「当たり前」を見直すために

今回の履歴書からの性別欄の削除は、個人的な属性によって被るあらゆる差別への問題意識が広がっていく機会となります。ほかにも、外見による差別的対応を防ぐため履歴書から写真欄をなくす署名活動が進んでいるほか、社会に出る前の段階でも、公立高校の入学願書の性別欄をなくす動きが全国で広がっています。当たり前とされている規格を変えることで守られる人たちがいます。「こういうものだから」という前例主義にとらわれず、採用や選考に本当に必要な情報か、誰かを傷つけていないかを見直す意識と行動が必要とされているのではないのでしょうか。

インタビュアー・執筆
吉田加奈子(東京都人権
啓発センター専門員)



佐藤さん(左)と今野さん(右)

※生まれたときの体の性別と異なる性別で生きる人たちの呼び方。性的少数者の中の一つのカテゴリーとされる。近年では、レズビアン(女性同性愛者)、ゲイ(男性同性愛者)、バイセクシュアル(両性愛者)、トランスジェンダー、クエスチョニング(自分自身のセクシュアリティを決められない、分からない人)の頭文字を組み合わせた「LGBTQ」が、性的少数者を表す言葉の一つとして使用されている。

JINKEN note

Column | 大きな可能性を秘める自動点字相互翻訳システム「:::doc (てんどつく)」

技術で人々の情報格差をなくす



「壁」がまだまだ立ちふさがっています。その壁の解消をめざして開発されたのが、自動点字相互翻訳システム「:::doc (てんどつく)」です。このシステムは、印刷物を撮影するタブレットやスマートフォンと、表示するディスプレイをつなぐだけで、印字を点字に、点字を印字にすぐに変換でき、翻訳機のように使うことができます。視覚障害者が自分で操作できる「手軽さ」、撮影後1分以内で出力できる「スピード性」、外注不要の「コストの安さ」を兼ね備えたもので、2021年2月に実用化されています。開発者は、国立東京工業高等専門学校^{※1}の学生たちです。開発チーム代表の板橋竜太^{いたばしりゅうた}さんと藤巻晴葵^{ふじまきはるき}さんにお話を伺いました。

リーダーを務めた板橋さんは「これまで自動点訳機器がなかったことに驚いた」と言います。開発に当たり、視覚障害のある当事者たちに丁寧な聞き取りをして臨みました。例えば、「分かち書き^{※2}」のような点字特有の表記ルールにも、当事者と試行錯誤を重ねるうちに対応できるようになりま

した。点字を読み取る被験者の指の動きが、回を重ねるにつれて、だんだん速くなっていくことが、「開発のモチベーションを大いに高めた」と言います。

こうして開発された「てんどつく」は、高専生による事業創出コンテスト「DCON2020」^{ディコン}で最優秀賞を受賞し、その企業評価額は5億円と評価されました。その後、代表の学生たちは「技術で人々の情報格差をなくす」という理念の下、2021年2月に学内ベンチャー企業「TAKAOAI」^{タカオアイ}を起業しました。

高専生たちが大きな可能性を見出した点字ですが、実は点字の普及率は視覚障害者の1割程度とも言われ、あまり高くありません。既存の点字関連の機器が高額であったことに加え、音声などのコミュニケーションツールの普及が背景にあるとも言われます。しかし、自動翻訳が普及して点字を使う人が増えれば、これまで代読に頼っていた書類を自分で「読める」ようになりま

す。自ら学び、情報を入手することで世界を広げることができ、社会参加の機会は大幅に増すと考えられます。

開発した「てんどつく」を利用するメリットについて、プログラミングを担当した藤巻さんは、「相互翻訳が簡単にできることから、(当事者に限らず)行政組織や企業など、情報提供をする側からのニーズにも対応できます。より多くの場面で活用してもらえれば、収益事業として十分に見込めます。点字が活用される機会

が増えることで、社会で障害者を支えられるようになれば」と語ります。

開発に当たって学生たちを指導した山下晃弘^{やましたあきひろ}教授(情報工学)は、「自ら読みたいという視覚障害者は多く、点字のニーズがなくなることはありません。ただ、障害者には、健常者以上に『洗練された情報』を提供する必要があります」と話します。インターネットが普及し、情報過多ともいわれる現代社会で「必要な情報を整理する技術」をいかに開発できるかが今後の鍵となりそうです。

学生たちも今後の課題として「レイアウトも含めた文書全体のメッセージを伝える」ための技術開発を挙げています。通常の印刷物は図や表を含むことが多く、点字化を妨げる原因になっています。図や表があっても要点が伝わるような翻訳を目標としています。

板橋さんと藤巻さんは、「今回開発した技術を用いたアイデアはまだたくさんある。失敗することも含めて、学生だからこそチャレンジできる。そして、その先には技術者として取り組みたいフィールドがたくさんある」と力強く語ってくれました。

インタビュー・執筆 味岡知津子・坂井新二(東京都人権啓発センター専門員)



画像化された『TOKYO人権』を、開発したシステムを使って点訳する様子

※1 クラウド上のエンジンを介して翻訳を行うシステム。音声認識にも対応しており、全盲の方でも操作が可能。

※2 読むために単語や文節ごとに適宜空白を入れるルール。漢字とかなが混在する一般的な日本語の文章とは異なり、かな(表音文字)だけで成立している点字を読む際に必要とされる。

6月は「就職差別解消促進月間」です。

東京都では、6月を「就職差別解消促進月間」とし、東京労働局およびハローワーク等と連携して様々な啓発活動を行っています。



※月間行事の詳細については、東京都のホームページ等でご確認ください。

人権啓発映画会

映画を通して、公正採用と人権についてあらためて考える機会としたいと思います。

映画会	日時	2021年6月29日(火) 13:15~16:45
	上映作品	「出会いを豊かなものに一公正さでのぞむ採用選考― 「蹴る 電動車椅子サッカードキュメンタリー映画」
	定員	150名(無料・事前申込制・先着順)
	会場	台東区生涯学習センター 2階ミレニアムホール (台東区西浅草3-25-16)
	問い合わせ	(公財) 東京都人権啓発センター TEL 03-6722-0085

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、オンラインのみの開催とする場合があります。情報保障・託児保育あり(詳しくはお問い合わせください)。

東京都人権プラザ企画展

読む人権 じんけんのほん“感染症と差別”

感染症と偏見・差別に関する書籍を集め、歴史や取組を学ぶことにより、現在進行形のコロナ差別、さらには「感染症と人権」について考える機会としたいと思います。



HIV感染者・ハンセン病患者・新型コロナウイルス感染症等

展示	会期	2021年6月11日(金)~2021年8月5日(木)
	開室時間	9:30~17:30 日曜休館(祝日は開館)
	内容	書籍と解説パネル展示等
	会場	東京都人権プラザ 1階 企画展示室

人権問題都民講座

コロナ禍における人権問題「自粛」と「自由」をめぐって

新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため人と人とのコミュニケーションが様々な場面で制約を受けている一方、感染者等を排除する風潮や誹謗中傷する書き込みがSNSなどで広がっています。コロナ禍の今、考えるべき人権の意義についてお話しいただきます。



新型コロナウイルス感染症等

講座	日時	2021年6月19日(土) 14:00~16:00
	講師	志田 陽子(武蔵野美術大学教授)
	申込締切	2021年6月14日(月)
	会場・定員	オンライン100名・会場(東京都人権プラザ)40名※ (無料・事前申込制・応募多数の場合は抽選)

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、オンラインのみの開催とする場合があります。情報保障・託児保育あり(詳しくはお問い合わせください)。

新型コロナウイルス感染症に係る人権問題に関する専門電話相談

新型コロナウイルス感染症に係る人権問題について、「電話」で相談をお受けし、相談内容に応じて助言を行うほか、必要な場合は別途適切な調整を行い、相談者の抱える問題等を解消します。

新型コロナウイルス感染症等

電話相談	日時	平日9:30~17:30 (土日祝・年末年始を除く)
	電話番号	03-6722-0118

東京都人権プラザ(指定管理者:(公財)東京都人権啓発センター) 港区芝2-5-6 芝256スクエアビル TEL 03-6722-0123

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から臨時休館の可能性あり。

東京都人権プラザでは、6~8月にかけて各種イベントを企画しています。

最新情報は、東京都人権プラザおよび(公財)東京都人権啓発センターのホームページをご覧ください。(QRコードはP1に掲載)

(公財) 東京都人権啓発センター賛助会員募集のご案内

皆様とパートナーシップを築き、人権意識の高揚、人権問題の解決に向けて、ともに手を携えてまいりたいとの趣旨から賛助会員制度を設けております。趣旨にご賛同いただき、是非ご加入下さい。

個人賛助会員 一口 2,000 円

団体賛助会員 一口 30,000 円



問い合わせ TEL 03-6722-0082

((公財) 東京都人権啓発センター 総務課まで)

団体会員の皆様

(公財) 東京都農林水産振興財団	東京都下水道サービス(株)	(公財) 東京都学校給食会	東京都交通サービス(株)	(公財) 東京観光財団	東京食肉市場(株)
(公財) 東京都中小企業振興公社	(公財) 東京都歴史文化財団	(一社) 東京環境保全協会	東京都住宅供給公社	(公財) 東京税務協会	NPO 法人 TEOS
(株) 首都圏環境美化センター	(一財) 東京都営交通協力会	(株) 東京国際フォーラム	東京都職員信用組合	東京都立大学法人	東京港埠頭(株)
(一財) 東京都人材支援事業団	(一社) 東京都信用組合協会	東京臨海高速鉄道(株)	東京都商工会連合会	(一財) 東京都弘済会	(株) ゆりかもめ
(株) ミライト・テクノロジーズ	(一社) 医療大麻 dot オルグ	(株) 東京エイドセンター	東京臨海熱供給(株)	自治労東京都本部	(順不同)
東京都中小企業団体中央会	東京都人権啓発企業連絡会	(公財) 東京しごと財団	(株) 東京ビッグサイト	(株) 東京交通会館	

【編集後記】 インタビューを行う際、その人のことを書籍や映像で調べていても、実際にインタビューを行うと改めてその人のことを知ることができます。予想通りのご返答もあれば、愚問であったと反省することもあります。それらすべてを含めて、出会えたことに感謝しながら編集に動いております。

誰もが幸せを実感できる社会へ

TOKYO 人権

Vol.90 2021年夏号 2021年5月31日発行(年4回発行)



マルチメディア DAISY 版を作成しています。ご希望の方は(公財)東京都人権啓発センターまでお問い合わせください。「DAISY(デイジー)」とは、視覚障害などさまざまな理由で活字を読むことが困難な方のための、デジタル図書です。

この冊子は再生紙を使用しています。

制作 株式会社ブックマーク
発行 公益財団法人 東京都人権啓発センター
〒105-0014 港区芝2-5-6 芝256スクエアビル2階
TEL 03-6722-0085 FAX 03-6722-0084
<https://www.tokyo-jinken.or.jp/>